

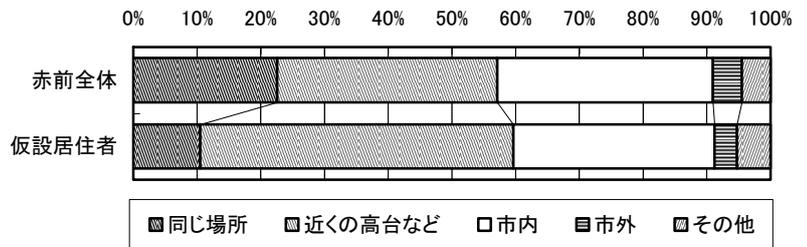
■赤前地区の仮設住宅入居者の意向（7月に実施したアンケート調査より）

※赤前地区回答者 199 人のうち 60 人が仮設住宅入居者でした。以下に赤前地区回答者のうち「被災なし」の方を除いた 142 人の集計結果と仮設住宅入居者 60 人の集計結果は次のとおりです。

○仮設住宅入居者の 46.7%の方が「近くの高台など」への移転を望んでいます。次に多いのが「市内で津波被害を受けない場所（30.0%）」です。

住みたい場所

	赤前全体		うち仮設居住者	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	30	21.1%	6	10.0%
近くの高台など	46	32.4%	28	46.7%
市内	45	31.7%	18	30.0%
市外	6	4.2%	2	3.3%
その他	6	4.2%	3	5.0%
無回答	9	6.3%	3	5.0%
計	142	100.0%	60	100.0%

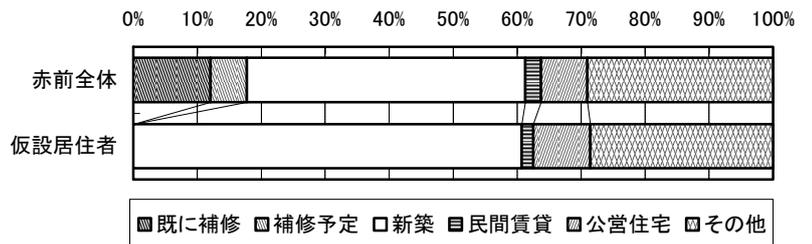


※無回答を除きグラフを作成しています。

○「新築または購入」で住まいと確保することを考えている方が 56.7%と最も多い。「公営住宅」への入居を希望している方は 8.3%となっています。

考えている住まい

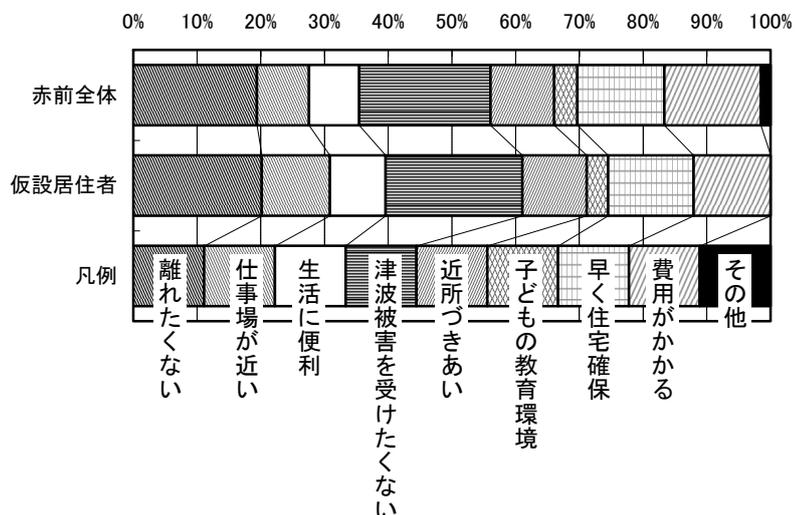
	赤前全体		うち仮設居住者	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	15	10.6%	0	0.0%
補修予定	7	4.9%	0	0.0%
新築	54	38.0%	34	56.7%
民間賃貸	3	2.1%	1	1.7%
公営住宅	9	6.3%	5	8.3%
その他	36	25.4%	16	26.7%
無回答	15	10.6%	4	6.7%
計	142	100.0%	60	100.0%



○住みたい場所を選択した理由は、多い順に「津波被害を受けたくない（53.3%）」「離れたくない（50.0%）」「早く住宅確保（33.3%）」となっています。

理由(複数回答)

	赤前全体		うち仮設居住者	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	64	45.1%	30	50.0%
仕事場が近い	27	19.0%	16	26.7%
生活に便利	26	18.3%	13	21.7%
津波被害を受けたくない	68	47.9%	32	53.3%
近所づきあい	33	23.2%	15	25.0%
子どもの教育環境	12	8.5%	5	8.3%
早く住宅確保	45	31.7%	20	33.3%
費用がかかる	50	35.2%	18	30.0%
その他	5	3.5%	0	0.0%
無回答	9	6.3%	3	5.0%
計	339		152	



◆赤前地区の仮設住宅入居者の自由記入欄の主なご意見

○住まいと暮らしの再建

- ・現在、仮設住宅に住んでいますがこの先2年後、3年後の住まいが不安。
- ・被災者が住宅を建設するための支援が必要。
- ・出来れば市で震災前に住んでいた近くに市営の住宅を作ってもらいたい。
- ・二重ローン問題で困っている。
- ・田老や山田のように仮設の店舗があるわけではないので、病院の売店のようなものを仮設に欲しい。又、健康相談でなく、地元のお医者さんが定期的に来ると助かる。
- ・障害者でも老人でも平和で暮らしていく良い宮古市にしてほしい。

○産業・経済の復興

- ・漁業復興に向け、1.海のがれき撤去、2.海底の調査、3.養殖施設の復旧 4.作業場・乾燥場などの建設、5.岸壁の補修、6.船の早目の納船、7.白浜赤前間の道路の早めの全舗装が必要。
- ・漁具・漁法の技術開発や漁具・漁法を保管する減災水産開発センターや、沖側・陸地側からの観光案内をおこなう三陸津波観光紀行に取り組んではどうか。
- ・単純に農地を復元するだけでは、せっかく復元した農地も多くは耕作放棄地となってしまうので、耕作する意志のある人の農地を集約するとか、農地を借り上げて耕作する組織を立ち上げるなど考えても良い。
- ・産業の創出のために道路の整備と高規格道路の建設が必要である。

○安全な地域づくり

- ・海の近くには住宅は建てないで高台に移れるように、山をくずして土地を作してほしい。
- ・とにかく3.11と同様の津波が来ても死者の出ない街づくりを基本に計画を立ててほしい。
- ・地盤をかさ上げして、津波を含めた水害に備える。平坦地（埋立地、山の切削地）は宅地の他、海洋基地（メタンハイドレード及び海底資源）とする。
- ・高台の農地をこれからの宅地にしたいが、農道のため、道路の確保が大変。
- ・流された場所に家は建てたくないで、国で流された土地を購入してほしい。国で山など切り開いてもらい、高い場所に家を建てたい。
- ・住める用地が確保出来るのか不安。高台に造成した土地に安心して住みたい。
- ・高地移転希望者向けに宅地を造成することも検討してほしい。
- ・防災無線で津波の情報を具体的に放送してほしい。
- ・家を離れている時に災害にあったらどこに避難したらいいかを分かりやすくしてほしい。
- ・被害を受けた場所に家を建てるのは望まない。
- ・海岸道路は走っている時に津波が来たら逃げる場所が無いから、多少スピードを出しても安全な場所まで逃げられるように、何ヶ所かに避難場所を作してほしい。
- ・もう少し土地をかさ上げすれば今回流失をまぬがれたろうと思われる土地は、優先してその費用（嵩上げの）を出して復興の先陣を切らせる事を希望する。
- ・遺跡のところの手続きを簡単にしてほしい。